

# 海外現地法人の動向（海外現地法人四半期（10～12月期）調査） 要 旨

平成17年4～6月の先行きD I

- ・ 売上高は、大幅に改善。現状判断の悪化見通しから電気機械の回復により、アジアを中心に大幅に改善。
- ・ 設備投資も、現状判断の悪化見通しが、すべての地域で改善。
- ・ 従業者は、わずかに改善。N I E S 3のみ悪化。

平成16年10～12月期の実績

- ・ 売上高は、5期連続2桁台の増加。電気機械、輸送機械等が好調ですべての地域で増加。特にアジアが好調。中国は電気機械が好調を持続。
- ・ 設備投資はA S E A N 4、中国、欧州が大幅な増加。
- ・ 従業者は、アジア、欧州が引き続き増加。

今回調査のポイント

調査時点：平成17年2月中旬

- 1．売上高先行きD I<sup>\*1</sup>の前期比は、16.7%ポイントの大幅な改善。実績（ドメイン）は、前年同期比14.6%増と、5期連続2桁台の増加と、好調を持続。**

先行きD Iは、すべての地域でプラス水準。特にI T関連の生産調整等の影響を受けていたN I E S 3<sup>\*2</sup>が大きく回復。前期比は、すべての地域で改善。特にアジアが電気機械の回復から大幅に改善。北米は、電気機械等の好調で引き続き改善。欧州はやや改善。

実績は、すべての地域で引き続き増加。特にアジアは、10期連続2桁台の増加。なかでも中国は、電気機械が好調で大幅増加を持続。北米、欧州は輸送機械が好調で引き続き増加。

- 2．設備投資先行きD Iの前期比は、5.0%ポイントの改善。実績は、前年同期比 13.9%増と8期連続増加。**

先行きD Iは、すべての地域でプラス水準。前期比は、すべての地域で改善。北米は電気機械が好調で引き続き改善。アジアは電気機械の改善等により改善。欧州はわずかに改善。

実績は、北米、N I E S 3を除くすべての地域で増加。アジアは引き続き増加。なかでも、A S E A N 4<sup>\*3</sup>は輸送機械が好調で、4期連続で大幅増加。中国<sup>\*4</sup>は、電気機械が好調で大幅に増加。欧州も2期連続で大幅増加。

- 3．従業者先行きD Iの前期比は、1.9%ポイントと引き続きわずかに改善。実績は、前年同期比 4.4%増と11期連続増加。**

先行きD Iは、N I E S 3を除くすべての地域で引き続きプラス水準。前期比は、N I E S 3を除くすべての地域で改善。北米は、電気機械の改善等により改善。欧州、アジアも引き続き改善。アジアでは、電気機械の改善等により、A S E A N 4、中国が引き続き改善。一方、N I E S 3は、輸送機械の大幅な悪化により悪化。

実績は、北米を除くすべての地域で増加。アジアは前年同期比 6.2%増と引き続き増加。欧州も3期連続の増加。アジアでは、中国が電気機械等の増加により同 10.1%増と引き続き増加し、A S E A N 4も増加。

注）\*1：D Iの調査期間を平成16年4～6月期調査から3ヶ月に変更（従前6ヶ月の調査期間を、「現状判断」、「先行き」に分割し、それぞれ3ヶ月で調査）

・ D I = 増加と回答した企業の割合 - 減少と回答した企業の割合

・ 現状判断D Iの前期比 = 平成17年 1～ 3月D I (現状判断) - 平成16年10～12月D I (現状判断)

・ 先行きD Iの前期比 = 平成17年 4～ 6月D I (先行き) - 平成17年 1～ 3月D I (現状判断)

\*2 N I E S 3：シンガポール、台湾、大韓民国

\*3 A S E A N 4：インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア      \*4 中国：香港を含む。

## 1. 売上高

売上高先行きD I（17年4-6月見通し）の前期比は、16.7%ポイントの大幅な改善。

先行きD Iは、すべての地域でプラス水準。特にI T関連の生産調整等の影響を受けていた、N I E S 3が大きく回復。

前期比は、すべての地域で改善。北米は、電気機械等の改善から引き続き改善。アジアは、電気機械の改善から大幅に改善。欧州は、輸送機械、電気機械が悪化したものの化学等の改善からやや改善。アジアでは電気機械の改善でA S E A N 4、N I E S 3、中国が改善。

売上高(ドルベース)は、前年同期比14.6%増で5期連続2桁台の増加と好調を持続。

すべての地域で引き続き増加。アジアは10期連続2桁台の増加。北米は輸送機械、欧州は輸送機械、電気機械が好調で引き続き増加。アジアでは、電気機械等の増加から中国が好調を持続。一方、N I E S 3は前期に引き続き伸びが鈍化傾向。

(参考) 海外経済 アメリカでは、景気は拡大している。アジアでは、中国、タイ等で景気の拡大が続いている。  
ユーロ圏では、景気は緩やかに回復しており、英国の景気は堅調に回復している。  
(月例経済報告(3月)より抜粋)

(1) 売上高現状判断D I(17年1-3月)は、9.7%ポイントと前期現状判断D I(16年10-12月)に比べ、3.5%ポイントの悪化。

先行きD I(17年4-6月)は、26.4%ポイントと今期現状判断D I(17年1-3月)に比べ、同16.7%ポイントの大幅な改善(1表、1図、2図)。

・ 先行きD Iは、すべての地域でプラス水準。特にI T関連の生産調整等の影響を受けていたN I E S 3は、大きく回復。

前期比は、電気機械等の改善から北米(同6.9%ポイント)は引き続き改善。アジア(同21.9%ポイント)は、一般機械、電気機械の改善から大幅に改善。また、欧州(同2.3%ポイント)は、主力の電気機械、輸送機械が悪化したものの化学等の改善によりやや改善。アジアでは、中国が電気機械の改善で、同24.9%ポイントの改善。電気機械等の改善により、A S E A N 4(同20.3%ポイント)、N I E S 3(同24.0%ポイント)等が大幅に改善。

(2) 売上高実績(ドルベース)は、前年同期比14.6%増と、5期連続2桁台の増加と好調を持続(1表、1図、3図)。

・ すべての地域で引き続き増加。特にアジアは10期連続2桁台の増加。なかでも、中国(同25.6%増)は、電気機械をはじめ13業種中12業種が増加し、10期連続2桁台の増加と好調を持続。A S E A N 4は、電気機械(同3.9%増)が4期ぶりに1桁台の伸びにとどまったものの、輸送機械(特にタイが好調)が好調だったことにより、同16.7%の増加。N I E S 3は、輸送機械(同32.4%増)が好調だったものの、I T関連の輸出の鈍化から電気機械(同12.9%減)が減少したことにより、同3.9%の増加にとどまった。また、北米は主力の輸送機械が好調なことから、同12.5%増。欧州は電気機械、輸送機械の増加から同14.4%増と5期連続2桁台の増加。

1表 売上高のD I及び実績(地域・主要業種別)

(単位: D I及びD I前期比 %ポイント、実績 前年同期比 %)

	計(地域・業種)	北米	アジア	A S E A N 4 <sup>1</sup>	N I E S 3 <sup>2</sup>	中国(香港を含む) <sup>4</sup>	欧州
D I	13.2 9.7 26.4	11.1 17.3 24.2	12.8 7.8 29.7	6.9 11.6 31.9	0.4 10.2 13.8	24.3 9.5 34.4	20.7 13.5 15.8
D I 前期比	( 3.5) 16.7	( 6.2) 6.9	( 5.0) 21.9	( 4.7) 20.3	( 9.8) 24.0	( 14.8) 24.9	( 7.2) 2.3
実績(前年同期比)	14.6	12.5	17.0	16.7	3.9	25.6	14.4

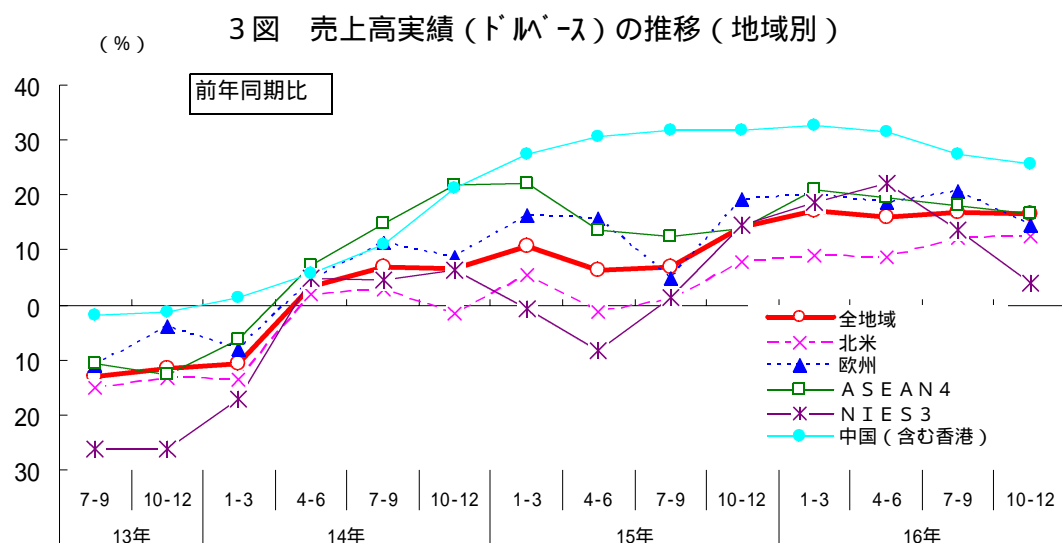
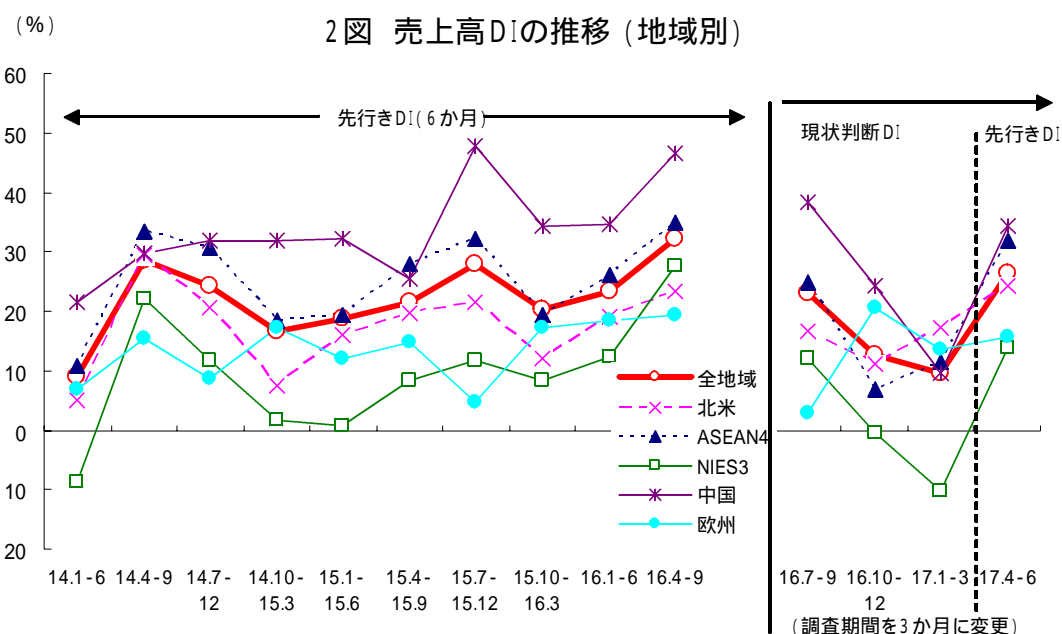
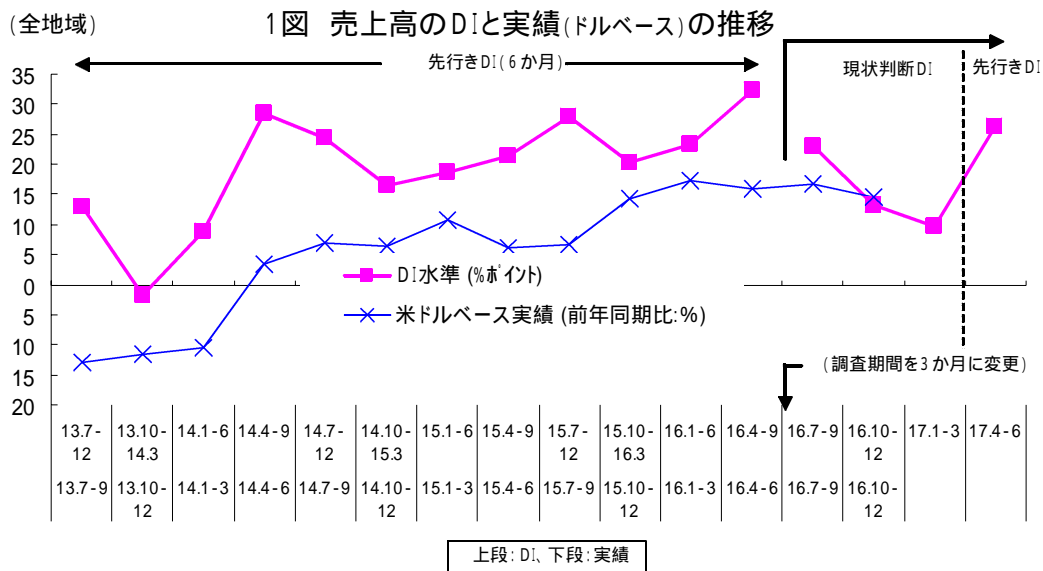
  

	輸送機械	電気機械	一般機械	化学	鉄鋼
D I	18.4 22.6 25.6	6.7 3.3 22.3	24.4 12.9 28.5	17.3 15.8 30.7	7.5 30.6 32.2
D I 前期比	( 4.2) 3.0	( 10.0) 25.6	( 11.5) 15.6	( 1.5) 14.9	( 23.1) 1.6
実績(前年同期比)	19.1	7.5	16.2	21.8	10.2

注) D Iは、16年10～12月(現状) 17年1～3月(現状) 17年4～6月(先行き)の順である。

D I前期比は、カッコ内が「現状判断D Iの前期比」、カッコなしが「先行きD Iの前期比」である。

1ページの注を参照



## 2. 設備投資額（土地を除く固定資産取得額）

設備投資額先行きD I（17年4-6月見通し）の前期比は、5.0%ポイントの改善。

先行きD Iの前期比は、すべての地域で改善。全地域で引き続きプラス水準。  
北米は、電気機械の改善で引き続き改善。

アジアは、電気機械の改善等により、改善。

欧州はわずかに改善。特に、ASEAN4、NIES3が大きく改善。

設備投資額の実績（ドルベース）は、前年同期比13.9%増と8期連続の増加。

北米、NIES3を除くすべての地域で増加。アジアは引き続き増加。

欧州も2期連続の大幅増加。アジアでは、輸送機械が好調でASEAN4が4期連続の大幅増加。中国は、電気機械が好調で大幅に増加。一方、NIES3は電気機械の大幅な減少により3期ぶりに減少。

(1) 設備投資額現状判断D I（17年1-3月）は、8.4%ポイントと前期現状判断D I（16年10-12月）に比べ、3.7%ポイントの悪化。

先行きD I（17年4-6月）は、13.4%ポイントと今期現状判断D I（17年1-3月）に比べ、5.0%ポイントの改善。（2表、4図）。

- 先行きD Iの前期比は、すべての地域で改善。全地域で引き続きプラス水準。  
北米（同2.2%ポイント）は、電気機械が好調で引き続き改善。アジア（同6.4%ポイント）は、電気機械の回復により改善。欧州（同0.6%ポイント）は、一般機械等が改善となったものの輸送機械、電気機械の悪化により、わずかな改善。アジアでは、ASEAN4が、電気機械等13業種中10業種で同8.1%ポイントの改善、NIES3（同7.5%ポイント）は電気機械が好調で改善。また、中国（同2.5%ポイント）は、輸送機械が大幅に悪化した、電気機械が堅調なことからやや改善。

(2) 設備投資額の実績（ドルベース）は、前年同期比13.9%増と8期連続増加（2表、5図）。

- 北米、NIES3を除く地域で増加。アジアは引き続き大幅に増加。なかでもASEAN4（同36.3%増）は、主力の輸送機械が好調（特にタイが好調）で、4期連続の大幅な増加。中国（同66.5%増）も、輸送機械、電気機械が大幅に増加したことから、前期に引き続き大幅に増加。欧州（同48.7%増）は、2期連続の大幅増加。一方、北米（同10.3%減）は、輸送機械の前年投資の反動減から減少。NIES3（同29.4%減）は、電気機械の大幅な減少により3期ぶりに減少。

2表 設備投資額のD I及び実績（地域・主要業種別）

（単位：D I及びD I前期比：%ポイント、実績 前年同期比：%）

	計（地域・業種）	北米	アジア	ASEAN4 <sup>1,3</sup>	NIES3 <sup>1,2</sup>	中国（香港を含む） <sup>1,4</sup>	欧州
D I	12.1 8.4 13.4	7.6 11.7 13.9	14.1 7.9 14.3	17.1 9.2 17.3	7.7 0.0 7.5	13.6 10.7 13.2	9.3 6.1 6.7
D I 前期比	( 3.7) 5.0	(4.1) 2.2	( 6.2) 6.4	( 7.9) 8.1	( 7.7) 7.5	( 2.9) 2.5	( 3.2) 0.6
実績(前年同期比)	13.9	10.3	32.9	36.3	29.4	66.5	48.7

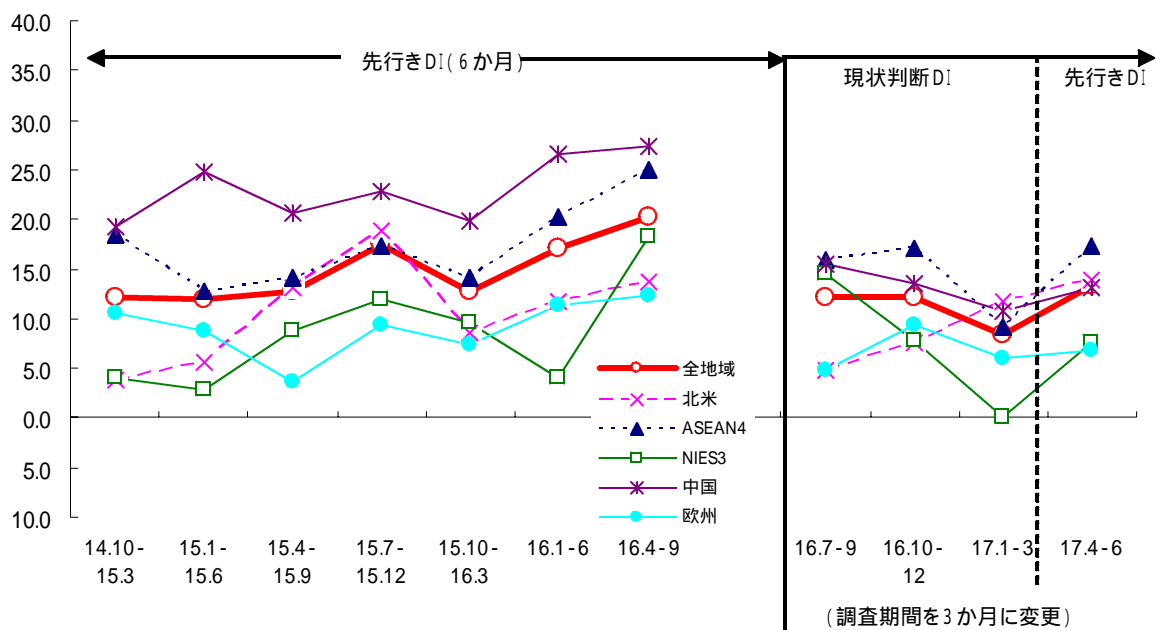
	輸送機械	電気機械	一般機械	化学	鉄鋼
D I	15.8 15.9 17.7	12.3 3.4 12.1	12.7 5.9 13.8	11.0 6.5 7.4	16.3 6.2 18.0
D I 前期比	(0.1) 1.8	( 8.9) 8.7	( 6.8) 7.9	( 4.5) 0.9	( 10.1) 11.8
実績(前年同期比)	1.3	43.7	8.9	50.9	31.4

注) D Iは、「16年10～12月(現状) 17年1～3月(現状) 17年4～6月(先行き)」の順である。

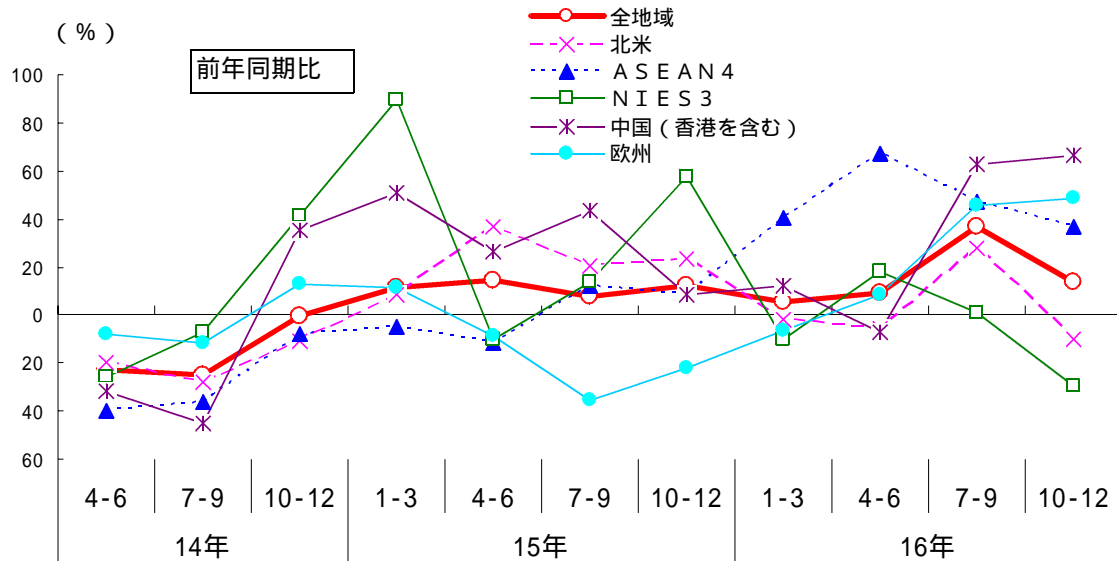
D I前期比は、カッコ内が「現状判断D Iの前期比」、カッコ外が「先行きD Iの前期比」である。

1ページの注を参照

4図 設備投資額D!の推移（地域別）



5図 設備投資額(ﾄｰﾙﾊﾞｰｽ)の推移（地域別）



### ３．雇用

従業者数先行きD I（17年4-6月見通し）の前期比は、1.9%ポイントと引き続きわずかに改善。

先行きD Iは、N I E S 3を除くすべての地域でプラス水準。前期比は、N I E S 3を除くすべての地域で改善。北米は電気機械等の改善により改善。アジア、欧州は、引き続き改善。アジアでは、電気機械等の改善により、中国が引き続き改善、A S E A N 4はやや改善。N I E S 3は輸送機械の大幅な悪化により悪化。

従業者数(平成16年12月末)は、前年同期比4.4%増と11期連続の増加。

北米を除くすべての地域で増加。アジアは同 6.2%増と引き続き増加。欧州も3期連続の増加。アジアでは、中国が電気機械等の増加により同 10.1%増と引き続き増加。A S E A N 4も引き続き増加。

- (1) 従業者数現状判断D I(17年1-3月)は、7.7%ポイントと前期現状判断D I（16年10-12月）に比べ、2.3%ポイントの改善。

先行きD I(17年4-6月)は、9.6%ポイントと今期現状判断D I(17年1-3月)に比べ、1.9%ポイントのわずかな改善。（3表）。

- 先行きD Iは、N I S E 3を除くすべての地域でプラス水準。N I E S 3はマイナス水準が拡大。  
前期比は、N I E S 3を除くすべての地域で改善。北米は、電気機械の改善等により同2.3%ポイントの改善。欧州は、電気機械が悪化となったものの、輸送機械が改善となり、同2.1%ポイントの改善。アジア（同1.4%ポイント）はわずかに改善。中国は、輸送機械、電気機械の改善により同3.6%ポイントの改善。A S E A N 4（同 1.2%ポイント）は、電気機械が改善したものの、輸送機械が悪化となったことによりやや改善。一方、N I E S 3は、輸送機械が大幅に悪化したことにより同 1.2%ポイントの悪化。

- (2) 従業者数（平成16年12月末）は 249万人、前年同期比4.4%増と11期連続の増加（3表）。

- 北米を除くすべての地域で増加。アジアは同 6.2%増と引き続き増加。欧州は輸送機械の大幅な増加等により同 5.1%増と3期連続の増加。アジアでは、中国が電気機械等の増加により、同 10.1%増と引き続き増加。A S E A N 4は、輸送機械が3期連続2桁台の増加と引き続き増加。

3表 従業者数のD I及び実績（地域・主要業種別）

（単位：D I及びD I前期比：%ポイント、実績 前年同期比：%）

	計（地域・業種）	北米	アジア	A S E A N 4 <sup>1</sup>	N I E S 3 <sup>2</sup>	中国（香港を含む） <sup>4</sup>	欧州
D I	5.4 7.7 9.6	4.7 2.4 4.7	7.7 11.0 12.4	4.1 10.3 11.5	2.3 2.1 3.3	14.6 16.0 19.6	3.0 2.3 4.4
D I 前期比	(2.3) 1.9	( 2.3) 2.3	(3.3) 1.4	(6.2) 1.2	(0.2) 1.2	(1.4) 3.6	(5.3) 2.1
実績(前年同期比)	4.4	2.4	6.2	3.4	1.2	10.1	5.1

	輸送機械	電気機械	一般機械	化学	鉄鋼
D I	7.9 11.8 12.5	3.3 5.8 8.1	6.1 6.4 10.8	5.2 12.3 10.2	13.5 15.0 11.6
D I 前期比	(3.9) 0.7	(2.5) 2.3	(0.3) 4.4	(7.1) 2.1	(1.5) 3.4
実績(前年同期比)	10.4	3.4	7.8	1.8	16.0

注) D Iは、「16年10～12月(現状) 17年1～3月(現状) 17年4～6月(先行き)」の順である。

D I前期比は、カッコ内が「現状判断D Iの前期比」、カッコ外が「先行きD Iの前期比」である。

1ページの注を参照